令和８年9月29日（火）

保護者の皆様

福津市立上西郷小学校
校 長　太 田　史 子

福岡県学力・学習状況調査の結果について

５月に5年生を対象に行われた福岡県学力・学習状況調査の結果（国語・算数・質問紙）についてお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部ですが、この結果をしっかり分析し，今後の指導に活かしていきたいと考えています。

１ 福岡県学力・学習状況調査とは

〇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、各学校が児童の学力の状況を把握することで、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。
〇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること。

２ 福岡県学力・学習状況調査の内容・実施時期

■調査対象 第5学年
■実施期日 令和8年5月18日
■調査内容
　〇教科に関する調査【国語】【算数】
　〇生活や学習についての意識調査【児童質問紙】

３ 福岡県学力・学習状況調査の結果

国語

【国語の学力の状況】

福岡県平均を下回っています。

「言葉の特徴や使い方」「読むこと」の領域では、「類義語・対義語、同音異字、呼応の副詞など、言葉の意味や使い方を捉える問題にはよくできていました。また、物語の中から登場人物の言動を読み取る問題でも県平均を上回る結果が見られました。

一方で、「情報の扱い方、我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと、書くこと」の領域では、漢字辞典の使い方や慣用句、話し合いの展開を捉えること、文章を読み直して適切な表現に直すことに課題があります。これは、語句の意味や使い方についての知識が十分に定着していないことや、相手や目的を意識して話したり書いたり、文章を読み直してよりよい表現に直したりする力が、十分に身に付いていないことが一因であると考えます。

算数

【算数の学力の状況】

福岡県平均をやや下回っています。

「図形」領域では、展開図を組み立てたときの面の位置関係、正三角形の性質、比例関係にある表とグ

ラフを結び付ける問題などがよくできていました。

一方で、「データの活用」領域では、目的に応じて必要なデータを選ぶことや、棒グラフ・折れ線グラフから特徴を読み取ることに課題が見られました。また、割合を使って数量関係を比べたり、日常場面で見積もりや道のりを考えたりすることにも課題が見られました。これらは、表やグラフから必要な情報を選び、複数の情報を関連付けて考える力や、日常生活の場面と結び付けて数量関係を捉え、その根拠を説明する力が、十分に定着していないことが一因であると考えます。

児童質問紙（生活や学習に対しての意識調査）

【質問紙より本校児童のよさと課題】

◇「安心して学校生活を送ることができた」「相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができる」児童の割合が県を上回っており、友人関係や学校生活に対する安心感の高さが伺えます。

◇「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」児童の割合が県を上回っており、振り返りを次の学びに生かそうとする姿が見られます。

◆「自分にはよいところがある」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」児童の割合が県を下回っており、自分のよさを実感することや、多様な考えを受け止めながら学ぶことに課題が見られます。

◆「勉強するときは、最初に計画を立ててから始める」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」の割合も県を下回っており、学習の見通しをもち、安心して質問・発言しながら主体的に学ぶ力を伸ばす必要があります。

４　今後の取り組み・ご家庭へのお願い

〇学校の取り組み

◆国語では、辞書の活用や慣用句・語彙の学習を日常の読書や文章表現と結び付けます。また、話し合いの流れを捉えたり、目的や相手を意識して文章を読み直したりする活動を取り入れ、自分の考えをより分かりやすく伝える力を育てます。

◆算数では、表・図・グラフから「何が分かるか」「どの情報を使うか」を考える場面を増やします。答えを求めるだけでなく、式や図、言葉を使って根拠や考え方を説明する学習を大切にし、「思考・判断・表現」の力を高めていきます。

◆授業では、「できたこと」「工夫したこと」などを振り返り、自分のよさや成長を実感できる場面を意図的に設けます。また、教師や友達が互いのよさを認め合う活動を大切にします。

◆学習のはじめに、めあてや見通しをもち、学習の終わりに、振り返ることを大切にします。ペアやグループで考えを比べたり、「分からない」「教えて」と安心して言えたりする授業づくりを進めます。

〇家庭での取り組み

本年度の学力調査における児童質問紙では、「安心して学校生活を送ることができる」「相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができる」「学習を振り返り、次の学習につなげる」といった項目が、福岡県と比べて高い傾向にあります。**学校生活の中で安心して過ごし、友達と関わりながら学習に取り組む姿**が育っています。今後も、ご家庭でお子さんの頑張りや成長を認め、温かく励ましていただければと思います。

一方で、「自分にはよいところがある」といった**自己肯定感**や、「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組む」「最初に計画を立てて勉強を始める」といった**主体的・計画的に学習すること**については、福岡県と比べてやや低い傾向にあります。また、教科の調査からは、国語では言葉を文脈の中で使ったり、

話や文章の流れを捉えたりすること、算数では表やグラフから必要な情報を選び、理由を説明することに課題が見られました。

そこで、保護者の皆様に次の点についてご協力をお願いします。

① 学習意欲や自己肯定感を高めるために

・結果だけではなく、「自分で考えたこと」「工夫したこと」「最後まで取り組んだこと」など、学習の過程を褒めたり励ましたりし、自分のよさや成長を感じられるようにしましょう。

・読書や日常の会話の中で、「どんな内容だった？」「どうしてそう思った？」「どのように考えたの？」などと尋ね、お子さんが自分の考えを言葉で表す機会をつくりましょう。

・買い物でおよその金額を考えたり、新聞やニュースなどの表やグラフを一緒に見たりするなど、生活の中で言葉や数、データについて考える機会をつくりましょう。

② 家庭学習習慣を定着させるために

・学年×10分＋10分を目安に、家庭で机につく習慣をつけてください（塾や家庭教師も含む）。
（例）5年生の場合　5×10＋10＝60分

・宿題が早く終わった場合には、自分の課題に応じて取り組む内容を考え、学習できるよう、学校でも指導していきますので、ご家庭でもお声かけください。

・チャレンジウィークを、「自分で計画を立てて学習する」機会として活用し、「計画を立てる→取り組む→振り返る」という学習習慣が身に付くよう、励ましをお願いします。

これからも学校では、すべての教職員が課題を共有し、その解決に向けて力を合わせて取り組んでいきます。子どもたちの心の成長と学力の向上のために、学校・ご家庭・地域が一体となって、引き続き教育にあたっていきたいと考えています。なお、今回の学力調査の結果は、「 学力のごく一部を示すもの 」であることをご理解いただければと思います。

保護者の皆さまのご理解とご協力を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。